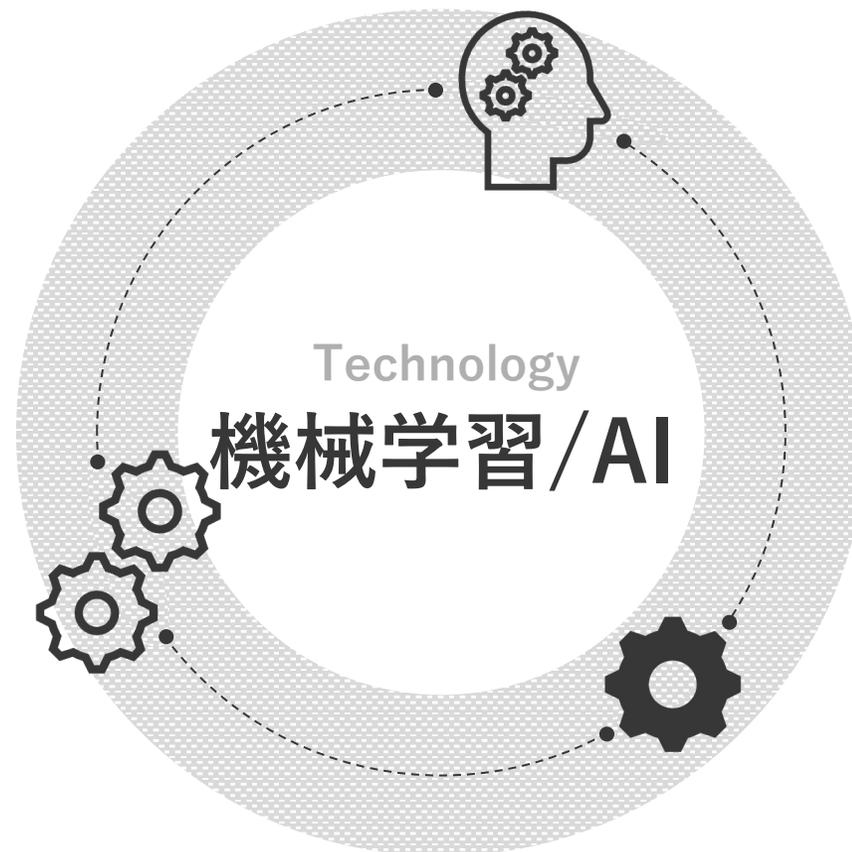


テクノロジーで意思決定を科学する

株式会社 **Liara**

Liaroは機械学習を用いた需要予測AIや生成AIを元に、川上から川下ま流通小売産業の変革を推し進めるDXカンパニーです。



数千～数万商品の正確な需要予測が可能になるAIを提供  
それにより…

現場の3割を占める  
高い発注業務コスト



発注業務自動化による  
生産性向上

欠品による  
売上機会損失



欠品回避による  
売上向上

SDGs/ESGに向けた  
廃棄/フードロス削減



廃棄削減による  
SDGs/ESG寄与



## グローバルワークなどを展開するアダストリアでも需要予測AIを活用いただき、発注作業、欠品、店舗の残在庫、在庫移動などを低減する成果

### 23年7月27日 アダストリアが需要予測AIによる「ディストリビューション最適化」のソリューションを導入

株式会社アダストリア（本部：東京都渋谷区渋谷2-21-1、代表取締役社長：木村 治）は、需要予測AIを手掛けるスタートアップ企業の株式会社Liaro（本社：東京都文京区、代表取締役社長：花田 賢人、以下Liaro社）のAIを活用した「ディストリビューション最適化（※1）」ソリューションを、基幹ブランドであるGLOBAL WORK（グローバルワーク）に導入いたしました。

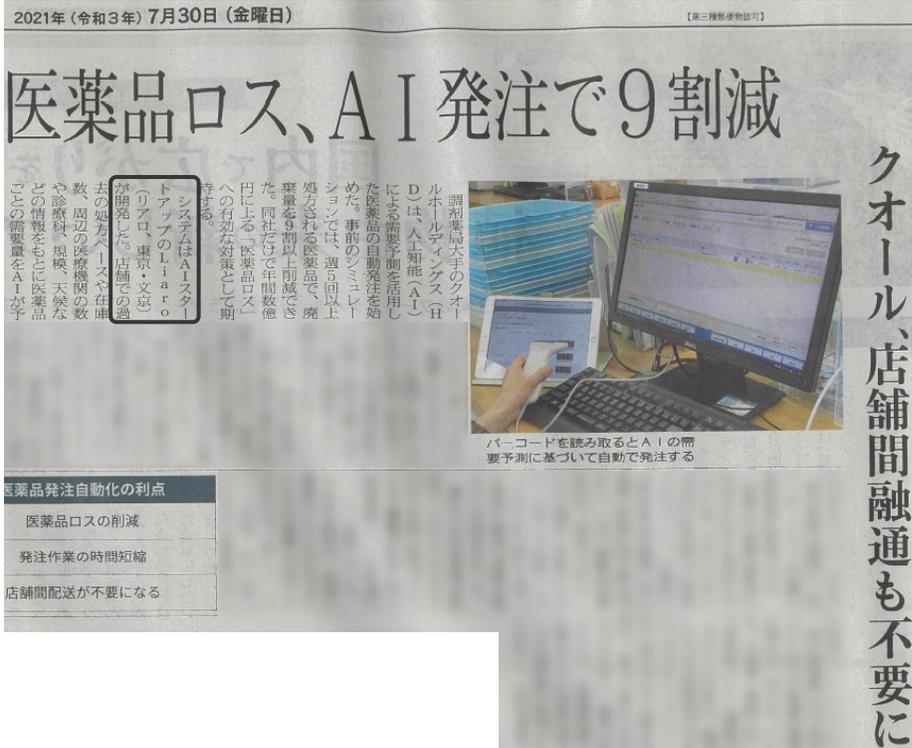
（※1）店舗に商品を分配する作業の効率化や商品の在庫調整において在庫量や作業負担を効率化すること



- ▶ アパレル、特にトレンドアイテムを扱うブランドに対しては需要予測は難しいという否定的な意見もある中、21年より実証実験を重ね十分な精度が出ることを確認
- ▶ 国内のアパレル業界で需要予測AIを本格的に導入する例はまだ稀であり、とりわけトレンドアイテムを扱うブランドにおけるディストリビューション最適化へのAI導入は先進的な試み
- ▶ アダストリアさんでは他社のAIソリューションも検討されましたが、実証実験の結果、Liaroの提供する需要予測ソリューションが最もマッチしていたことから、本格導入を決定

# クオール薬局との取り組み事例はクライアントからプレスリリースが出され、新聞掲載もされています。

21年7月30日 日経MJ



21年6月17日 クオールHDプレスリリース

2021年6月17日

各位

クオールホールディングス株式会社

### クオール薬局 AI需要予測による発注最適化のソリューションを導入

～従業員の負荷軽減、医薬品ロスの削減、配送時のCO2削減を目指して～

全国にクオール薬局等の保険薬局を運営するクオールホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:中村 敬、以下クオール)は、株式会社Liaro(本社:東京都文京区、代表取締役社長:花田 賢人、以下Liaro)が提供する、人工知能(AI)需要予測を用いた発注最適化のソリューションの本格導入に向けた試験運用を開始いたしましたので、お知らせいたします。

天気情報  
医薬品情報  
地方薬の過去実績  
周辺医療機関情報

需要予測AI

医薬品ごとに予測需要量を出力

発注に関してはほぼ理想的な流れで動いているように感じています。

従来だと（発注回数が）倍以上の数字になるかと思われます。

発注業務そのものの効率化が出来ていることの裏返しと考えます。



# Liarao

## 他社

ナレッジ

CEO含め高い技術力のAIの専門家集団

▼  
アパレルや医薬品など需要予測が難しいと言われる分野での成功事例

専門性の低いチーム

▼  
特定の分野のみの事例

コスト

AIビジネスにあったビジネスモデル

▼  
初期費用は大手Sierと比較して数分の一  
~1/10のコストで試験導入可能

初期費用で5000万円超えることも

▼  
試験導入の失敗のリスクが高い

カスタマイズ性

各社にカスタマイズして導入

▼  
商品特性・業務特性にあったAI

パッケージ商材が多い

▼  
季節性や商品特性に対応しきれない

サポート体制

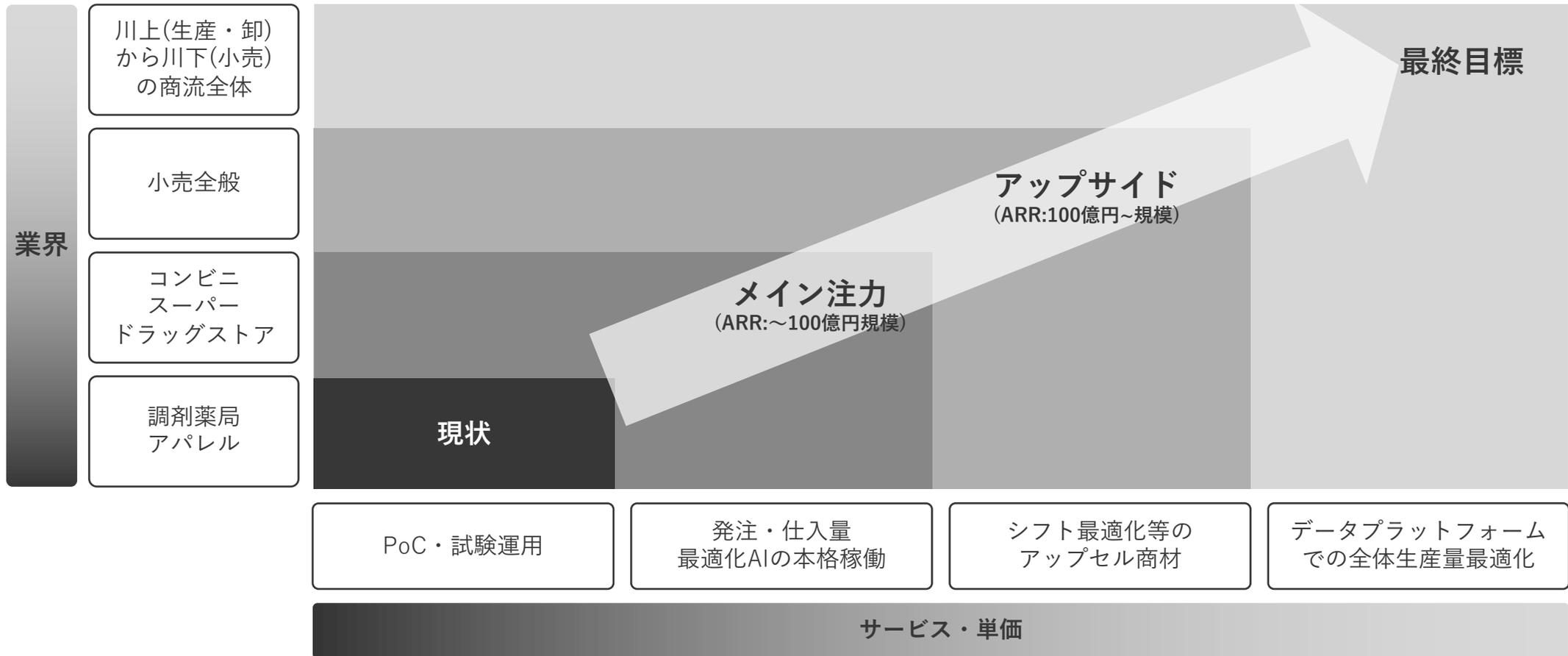
再学習等の導入後サポート

▼  
精度やUXの継続的改善

ウォータフォールで導入がゴール

▼  
経時的なデータの変化でAIの精度劣化

# 業界を次第に増やしつつ、最終的には商流の川上～川下までの データプラットフォーム整備と全体最適化を目指す



**Liaro**